

カブドットコム証券株式会社
(コード番号: 8703 東証1部)
代表執行役社長 斎藤 正勝

2004年6月30日

自動売買機能強化、制限値幅自動値段調整機能＆バスケット（一括発注）
～ 制限値幅自動値段調整機能に加え、kabuマシーン™ではバスケット（一括発注）が利用可能に～

カブドットコム証券株式会社は、自動売買機能強化の一環として、「制限値幅自動値段調整機能」およびkabuマシーン™での「バスケット（一括発注）」【特許出願中】をサービス追加いたします。「制限値幅自動値段調整機能」は6月30日（水）、kabuマシーン™での「バスケット（一括発注）」は7月中旬開始予定です。

kabuマシーン™では、「株式（現物・信用）」「日経225先物」「日経225オプション」すべてのバスケット（一括発注）に対応しており、これは国内証券初となります。当社のお客様は、kabuマシーン™での「バスケット（一括発注）」の追加に加え、「制限値幅自動値段調整機能」を逆指値・W指値・±指値・リレー注文・Uターン注文といった、既存の自動売買注文と組み合わせることによって、さらに進化した「リスク管理追求型取引」をご利用いただけます。

また、かねてよりお客様からご要望いただいたおりました注文画面の「簡易画面表示機能」を追加し、シンプルな注文画面表示を選択することも可能としました。

kabuマシーン™

■ 「制限値幅自動値段調整機能」

値幅制限（ストップ高・安）超又は未満の指値注文の場合、市場で受付けることが出来ないため、市場に発注することが出来ません。しかし、「制限値幅自動値段調整機能」を設定しておくと、発注時に自動的に値幅を計算し、市場に発注可能な値幅制限いっぱいの指値に調整して、その注文を発注します。この機能を利用すれば、現在値よりも大きくかけ離れ、発注出来なくなってしまった指値注文も、常に値幅制限いっぱいの指値として注文可能となります（「制限値幅自動値段調整機能」が設定された注文も、従来同様、3週間先まで注文期間指定が可能）。

同機能を設定しておくと、常に前日基準値をもとに、翌日の繰越し時に自動調整されますので、発注した指値が、注文期間中に値が動き、実勢価格と大きくかけ離れてしまうのを防ぐことが可能です。

この「制限値幅自動値段調整機能」は、特に「逆指値」や「W指値」等の自動売買ご利用時に威力を発揮します。また、注文時にこの「制限値幅自動値段調整機能」を使用するかしないかを、お客様ご自身で選択していただくことができます。

例：

3週間の期間指定で、前日終値550円（500円から1000円までの値幅制限は±100円）の銘柄で、「指値650円+逆指値450円になったら1000株成行売」のW指値注文を出していた場合

本日-50円の500円で引けた場合は、翌日そのままでは値幅制限エラーとなってしまい市場で受付されず、発注できませんが、「制限値幅自動値段調整機能」を設定して発注すると自動的に指値は値幅いっぱいの600円に調整され、W指値は「指値600円+逆指値450円になったら1000株成行売」に調整して注文発注します。

■ 「バスケット（一括発注）」【特許出願中】

バスケット（一括発注）とは、複数の注文をあらかじめ登録し、任意のタイミングでまとめて発注することができるサービスです。当社では「株式（現物・信用）」「日経225先物」「日経225オプション」が、それぞれ「買」「売」または「新規」「返済」のバスケットとして設定可能です。

バスケット名は「電機関連」「ロスカット」等ご自分で分かりやすい名前を付けていただけます。マーケットの動きが出てから複数銘柄を一つ一つ入力していたのでは、注文執行に多大な時間を費やしてしまいます。バスケット（一括発注）なら、事前に注文登録しておき、マーケットが大きく動いた時にあわせて一括して注文発注が可能となります。

[知的財産権](#)

■ 特許出願

当社はこれまでにさまざまな新しい技術を創造してきており、業界でも類を見ない画期的な技術やビジネスモデルを積極的に特許出願することで、自社の技術を保護していく方針です。今回の「バスケット（一括発注）」につきましても、弊社コアコンセプトである「リスク管理追求型」を強化するためのサービス・技術として特許出願しております。

■ バスケット（一括発注）仕様

バスケット種類	「現物株買バスケット」／「現物株売バスケット」 「信用新規バスケット」／「信用返済バスケット」 「先物新規バスケット」／「先物返済バスケット」 「オプション新規バスケット」／「オプション返済バスケット」 全8種類
バスケット名	任意に設定可能（5文字）
注文形式	「指値注文」および「成行注文」
1バスケットあたりの登録可能注文数	制限なし。ただし、買い注文・新規注文を一つの画面で、一度にまとめて登録する場合は15注文まで。その後何回でも繰り返して追加していくことが可能ですので、登録可能注文数には上限はありません。
登録バスケット数	制限なし

※バスケットの設定により「買付可能額」「新規建玉可能額」は拘束されます。同様に、同じ現物株の売却や建玉の返済注文を、複数のバスケットに重複して登録することは出来ません。

※当社の任意で「バスケット禁止銘柄」を指定する場合があります。

■ バスケット（一括発注）のフロー



■制限値幅自動値段調整機能画面イメージ



■バスケット（一括発注）画面イメージ～現物株売バスケットの場合

■簡易画面表示機能イメージ

